

## 前回までの検討の経緯

### 平成27年度 第1回 史跡加曽利貝塚総括報告書編集委員会

日時 平成27年7月29日(水) 14時30分から

会場 千葉市埋蔵文化財調査センター講堂(委嘱状交付式は千葉ポートサイドタワーで実施)

説明 ①市の加曽利貝塚特別史跡化に向けた取組み

②史跡加曽利貝塚の概要(過去の発掘調査)

③再整理事業の経過

加曽利貝塚の発掘・研究の歴史、保存・整備の歴史とその意義をまとめた資料を提示した。

議題 ①部会長・副部会長の選任

②総括報告書の編集方針

③総括報告書の構成

総括部分について、日本列島あるいは東アジア圏における位置づけなどもっと広い視点で検討すべき、目的をもった戦略的な構成を検討すべき等の意見があった。

各章の分析結果の総括以外に、テーマを定めて加曽利貝塚の特徴や価値を示す部分を設けることでさらに総括部分の構成について検討を重ねることとした。

### 平成27年度 第2回 史跡加曽利貝塚総括報告書編集委員会

日時 平成27年11月4日(水) 15時00分から

会場 千葉市埋蔵文化財調査センター講堂

説明 ①特別史跡に向けた取組みの進捗について

②再整理・総括報告書編集作業の進捗について

発表 ①東京湾東岸の貝塚の特質

②トレンチ出土土器の時期別分布状態から推測した南貝塚の貝層形成過程について

学術的価値をいかに提示するか、検討のたたき台として2件の発表を行なった。

議題 ①事実記載部分の記載・提示方法について

②総括部分の構成方針について

事実記載部分の各章・節の目的と内容を示し、不備がないか確認するとともに、総括部分で取り上げるべき課題や論点について事務局案を示した。事実記載部分は随時進めて完成したところから委員に確認を依頼することとし、総括部分について学史の充実を図ることとした。

その後の内部検討を進めるなかで、総括部分での加曽利貝塚の価値の示し方について、方針転換を図ることとした。

・東京湾沿岸の大型貝塚群の象徴として加曽利貝塚を位置付けるため、他の貝塚の調査成果を踏まえた分析・検討に力を注ぐのではなく、過去の調査成果をまとめ、加曽利貝塚の価値を整理することに重点をおく。

・学史的な価値や保存・活用の歴史などの新たな付加価値も重要であることから、総括部分で将来の活用も含めて記載する。